



# 視 点 の さくら

SAKURA'S PERSPECTIVE

さくらこどもセンターでのとあるシーンを「さくらの視点」からわかりやすく解説します。



## 小学5年生の壁

「うちの子は軽いので普通に育てます」「発達障がいだと周りに知られたらかわいそうですから」と話すお母さん。「勉強はできませんが授業中も休み時間もトラブル続きで対応に困っています」「保護者さんは発達障がいを受け入れておられないので問題解決の手立てが進まず心配しています」と話す学校の先生。どちらもよく聞くことですが、支援には「句」というものがあります。

「障がいが知れたらかわいそう」というお母さんの言葉が私たちの心の中にこだまする。厳しい社会から不利に扱われることのないように我が子を守ろうとするお母さんの思い。決して責めることはできません。しかし「学力の遅れがない」「学力が高い」「ゆえに支援の対象に名前の上がらないお子さんの中に、深刻な状態に陥っている子どもが多く存在するのも実情です。」

特に深刻な状態になってくるのが小学校5年生です。私たちはこの厳しい時代を「5年生の壁」と呼んでいます。診断を受け支援を受けていても、5年生の壁を乗り越えることは容易ではありません。まして未診断未支援のお子さんが1人の力で乗り越えるのは至難の業でしょう。

勉強さえできていけば将来は何とかなるのでしょうか。残念ながらひとりの人間が大人に成長する道のりはそんなに単純ではないですね。特に心の成長は年月を要し、表に現れにくいゆえに、気づいた時には既に傷つきが深刻な状態になっています。劣等感や不安感がくすぶり、落ち込みと他者への怒りを溜め込むようになってしまいます。

支援には旬があります。心の発達に合わせた時期とやり方があります。小学校低学年と高学年では抱える

問題は違います。中学生ともなれば周囲の環境のみならず集団適応と個の成長の両方が一気に加速されます。それぞれの時期に合わせた支援方法を柔軟に組み替えていく必要があります。

小学校5年生を過ぎる頃から大人を受け入れる子どもの側の扉は徐々に閉まり始めます。親や大人から距離をおこうとします。自我を見つめる時代が始まるからです。それが思春期というものです。子どもが良を閉じる時期になって始めて大人が事の重大さに気づいていては、もはや手立てが届きません。支援の旬を逸することのないように準備をしましょう。

医療にも治療と予防医学があるように、発達教育にも特性を踏まえた「予測的教育」が必要です。一年一年を点で見るのではなく連続する線を描かなければなりません。どこに向かうのか計画性のない、羅針盤のない船に子ども達を乗せないように。一発打ち上げ花火的なサポートは意味がありません。本人だけでなく周りの家族も共に不幸になっていきます。

### 指導者の心得

#### 🔗 心の発達の時期に時間差が生じます。

この時間差は悪いものではありませんが、同年代の子ども達の心の発達段階との間に段差が生じるため、関係性に障壁になることがあります。心の発達模様を考慮した支援が必要です。

#### 🔗 発達障がいの3つの特性を知りましょう。

①感覚調整の困難 ②社会性の困難 ③想像力の困難  
3つの特性がこの子の行動にどの様に影響を及ぼしているのかを個別に丁寧に考えていけば必ず支援の方向性が見えてきます。

さくらこどもセンターの「総合案内パンフレット」が完成しました！

多岐にわたるプログラム内容、さくらメソッド、設立の思いなど、さくらの全てを一冊にまとめることができました。英語版もありますので、ご希望の方はお送りします。



INFORMATION

お問い合わせ ☎ コールセンター 078-331-3200 (会員様専用 079-564-4192) [受付時間：平日 / 土曜 9:00~18:00]

開催日や開催校などの詳細情報は、ホームページ「さくら日記」(<https://ameblo.jp/2503sakura/>)でお知らせしております。ご参加お待ちしております。



仲良く絵本を読んでいます。取り合うことなく、お互いに近い距離で過ごすことを許し合う安心できるお友だちです。



スプーンゲームでは、自分の持っているカードとお友だちの動向の両方に注目する必要があります。



ケイキマナスクールでは、7月に入りプール開きをしました！子どもたちの素敵な笑顔を見ることができます。



今年から軒下の日陰にプールを設置し涼しく安全に楽しめるようにしました！



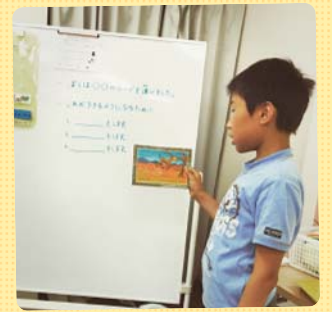
ゲームで遊ぶという何気ないように見える場面でも「一緒に遊ぶことの喜び」「勝敗を受け入れる練習」「戦略として相手の邪魔が許されること」など、スモールステップの学びの積み重ねでここまでできています。



ケイキマナスクールでは定期的にお誕生日会を行っておりお手製のメダルもプレゼントしています！



エリクソンの森にある大きな木を皆で力を合わせて移植しました！



「ストレングスカード」では、カードのような自分になるために、今の自分に何ができるかを3つ考え発表しました。子どもたちの前向きな一歩を応援し、これからの頑張りを見守っていきたくと思います。



雨でお散歩に行けない日は、室内でスタンプ遊びをしました。スタンプ遊びの次は自分の手をベタッ！



## 7月の活動報告

ACTIVITIES IN AUGUST

さくらの日常を毎日発信している「さくら日記」から7月の活動をピックアップしました。



さくらっ子クラブの英会話クラスではかわいい指人形を見ながら「finger family」の歌を歌いました！



さくらっ子のGYMで、パラバルーンをしました！お友だちと協力したり、皆と一緒に楽しむ運動も取り入れています。



『かたつむり ぐるぐるのおうち かわいいな』梅雨の時期らしい、子どもならではの感性の俳句ですね。



さくらっ子クラブとケイキマナスクールの9月分からHP上の予約システムでご予約できるようになりました！



50枚以上のカードから、自分の強みにあてはまるカードを3枚選び選んだ理由と共に発表しました。グループでは、自己肯定感を高めることを大切にしています。



カブトムシやクワガタなどたくさんの昆虫たち。みんなに貸してあげるために前日から作ってきてくれたようです！



総合案内パンフが完成しました！これまでさくらの事を伝えるのが難しかったのですが、ぜひ園や学校の先生などにお渡しいただき、連携を深めていくツールになればと思います。



「スネークブロック」を使い先生と同じ形を作ります。「見本に注力する力」「形をとらえ模倣する力」を高めます。